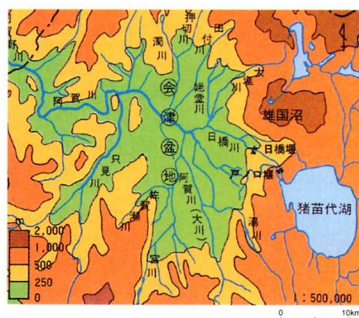


平地と水を生かす 一会津盆地一

会津若松市を中心とした地域は、周囲を奥羽山脈と越後山脈にかこまれた会津盆地とよばれる広い土地が広がっています。

この地域は、古い歴史と農業のさかんな会津地方の中心となっています。

会津盆地の広さは、東西およそ12km、南北およそ30kmにおよび、この中に広大な水田が広がっており、コシヒカリなどのおいしいお米が作られています。



会津盆地のおもな川

会津盆地には、冬にふる豊かな雪により多くの川が流れこんでいます。きびしい自然を上手に使い、米づくりに生かしています。

また、古い歴史のある地域であり、全国からたくさんの観光客がおとずれています。



広々とした会津盆地

会津盆地では、毎年8万トンくらいの米がとれます。県全体では50万トンくらいの米がとれるそうです。とれた米は磐越自動車道などを使って、日本全国に運ばれていきます。

会津盆地には、冬にふる豊かな雪



鶴ヶ城